

町民のみなさんの 幸せを実現することが 行政の最大の“使命”

災害に強い町へ

町が抱えている諸課題の中で、まず早急に取り組まなければならないことは、全町民の命を守る防災体制の整備・強化です。

役場の防災体制充実はもちろんのこと、地域ごとの防災訓練実施により、全町民の防災意識を高めるとともに、「自分たちの地域は自分たちで守る」という「共助」の精

神に基づき、地域のみなさんが自主的・主体的に結成する「自主防災組織」の整備などにより、災害に強いまちづくりを進めます。

子ども、女性、高齢者のために尽力します

子どもは益城町の将来を担う大切な宝です。私たちは、その大切な宝を守り続けなければなりません。特に、子育て中の若い世代の人たちに住んでもらうためには、子どもの教育環境の整備や子育てと仕事が両立できる環境の整備が必要です。

子どもの教育環境の整備として、学校へのエアコン設置による快適な学習環境の整備、地元の米や野菜を取り入れた「ふるさと給食」の推進などに取り組めます。

また、子育てと仕事が両立できる環境の整備としては、親子で楽しく過ごす「ふれあい広場」の整備、「町カフェ」や「郷土のレストラン」など女性ならではの才能が発揮できる仕事場の確保を行い、お母さんたちが子育てしながら働ける環境づくりに取り組めます。

次に、高齢者や障がい者への支援です。高齢者や障がいのある人を地域で見守るしくみをつくり、できるだけ住み慣れた地域で暮らせるような支援策を講じます。

高齢者への具体的な支援としては、高齢者へのタクシー補助券の交付や一人暮らしの高齢者を見守る「幸せの黄色い旗」掲示などを実施するほか、介護が必要な人に対して、地域密着型特別養護老人ホームなどの整備も併せて取り組みます。

また、障がい者への支援につきましては、各種福祉サービス、地域社会生活支援事業等の充実を図り、障がいのある人を地域で支える体制づくりを推進します。

賑わいのある町へ

活気あふれるまちづくりの一環として、益城台地土地地区画整理事業の早期着工を図り、ショッピングや食事など余暇を満喫できる場所を確保することで、若い世代の人たちが住みたくなるような賑わいのあるまちづくりを実現します。

さらに、朝市などの開催による町の特産品の情報発信、町内出身の偉人・史跡のピールに取り組み、町内外からの集客を目指します。

町の特産物をブランド化

農業の振興策については、農協などの関係団体と連携して町の特産品のブランド化や販路拡大を図るとともに、規格外の農産物を活

用した加工品の生産や流通を目指します。

また、6次産業化による雇用の創出や生産者、従事者双方の所得の向上により、産業としての魅力を高めることで農業を振興します。

次に、商工業については、町商工会などの関係団体と連携し、町のイベントなどを活用した地域産業の振興を図ります。

さらに、町の基幹産業である農業や、商業・工業の産業間での連携「農商工連携」を強化し、農商工業の活性化を図ります。

元気な町づくりは

町民の健康づくりから

健康で長生きは、全町民の願いです。そのため、保健福祉センター「はびねす」を拠点とした子どもから高齢者まで、年齢を問わず運動に親しめる仕組みをつくりま

す。出前型の健康づくり事業を積極的に実施するとともに、地域における健康づくりの推進を担う人材を育成します。

また、病気の早期発見のためにワンコインで受診できる特定健診を実施することで医療費の削減に努めます。

さらに、ふるさとの史跡、神社、自然を利用したウォーキングロー